

マーチングバンド部門 審査規定

1. 審査委員長・審査員

(1) 審査委員長・副審査委員長

- ① 審査委員長は1名とし、審査全般の最終確認を行うとともに審査審判業務を円滑に遂行する。また、実行委員長と共に罰則（違反失格・減点・警告または注意）に関わる最終確認と判断をする。
- ② 副審査委員長を1名とし審査委員長の補佐をする。

(2) 審査員

- ① **小学生の部** 審査員は5名とする。
 - ア. 全体的演奏演技の調和 3名
 - イ. 全体的演技技術と表現力 2名
- ② **中学生の部**・**高等学校の部**・**一般の部** 審査員は5名とする。
 - ア. 音楽と視覚の調和 2名
 - イ. 演奏技術と表現力 2名
 - ウ. 演技技術と表現力 1名

(3) 審判員

- ① 審判員は4名とし、1名を審判長とする。
- ② 審判長は審査委員長の補佐をする。
- ③ 審判員は下記の内容を審判する。
 - ア. 2階審判席 人数・編成・時間・器物・**特殊効果**・事故 2名
 - イ. フロアー 入退場・時間・器物・**特殊効果**・事故 2名
- ④ 違反が生じた場合は協議する。審判長は協議結果を審査委員長に報告する。

2. 成績判定・表彰

(1) 成績判定

各審査員は上記1の(2)に基づき100点満点(小数第1位まで)で採点する(評点)。
評点から減点を差し引いたものを得点とし、席次を決定する。

- ① 順位は、各審査員の席次点の合計が小さい団体が上位となる。
- ② 席次点が同点の場合は、審査員による投票により決定する。

(2) 表 彰

成績により金賞・銀賞・銅賞を授与する。

(3) 全国大会への推薦

成績により決定する。

マーチングバンド部門 審査内容

マーチングバンド部門

小学生の部

全体的演奏演技の調和（管楽器・打楽器）

全体的演奏演技の調和

演奏演技全体を音楽的な要素と視覚的な要素の結びつきをふまえて全体的に判断する。

全体的表現

- ・全体構成
「緩急」「強弱」「喜怒哀楽」の変化や「起承転結」等の構成を理解した、メリハリが感じられる演奏・演技になっているか。
- ・音楽と視覚の調和
音楽効果と視覚効果の調和を意識した演奏・演技をしているか。
- ・ミュージシャンシップ
観客を意識し、アピールしようとする姿勢が一貫しているか。
- ・完成度
安定感のある仕上がった演奏・演技になっているか。

音楽的表現

- ・表現
テンポ、音色、音程等に気を付け、楽曲のスタイルや曲想を理解した音楽表現ができているか。
- ・バランスとブレンド
ステージング（フォーメーションの中での楽器の配置）を考えながら、管楽器内、打楽器内、管楽器と打楽器のバランスやブレンドに気を付けた合奏ができているか。
- ・強弱
美しい音質を保ちながら、強弱の差が効果的に表現されているか。
- ・統一感
イントネーション等がそろっているか。

視覚的表現

- ・表現
テンポ、緩急等に気を付け、楽曲のスタイルや曲想を理解した動きの表現ができているか。
- ・ポジションワーク
インターバル（横の間隔）やディスタンス（縦の間隔）等に気を付け、全体のフォーメーションに貢献できているか。
- ・動作の鮮明度と同一性
動作がはっきりとして正確で、形やタイミングがそろっているか。
- ・リカバリー
ミスに対して適切な対応をしているか。

マーチングバンド部門
小学生の部

全体的演技技術と表現力

全体的演技技術と表現力

演技者の技術力や表現力がいかに調整されているかを全体的に判断する。

演奏技術

- ・スタイルの統一と適応
FM、RM、MT、停止姿勢、ターン方法などが統一されているか。
- ・動作の完成度
動作が正確に行われ、タイミングがそろっているか。
- ・楽器と手具の保持および使い方
演奏・演技を行うにあたり楽器や手具などが適切に使われているか。
- ・列、間隔のそろえ方
列をそろえるにあたり、その基準を理解しているか
動きの中でインターバルやディスタンスの取り方を理解しているか。
- ・動作の転換とタイミング
連続した動作が正確にスムーズに行われているか。

表現力

- ・コミュニケーション
表現を通して観客との対話がなされているか。
- ・ボディーワーク
演奏している音楽に適した表現がなされているか。
- ・手具などの表現
手具の扱い方や振付が音楽に適した表現がなされているか。
- ・ショーマンシップ
観客を意識し、アピールしようとする姿勢が統一されているか。

音楽と視覚の調和

作品の全体的調和

ショー全体のコーディネーションを音楽的な要素と視覚的な要素との結びつきをふまえて総合的に判断する。

・コーディネーション

ショーの流れに「緩急」「強弱」「喜怒哀楽」や「起承転結」を感じさせる変化があるか。

また、無理のない流れがあるか。

クライマックスが表現されているか。

各セクションの組合せに調和や変化を感じさせるか。

・音楽と視覚の調和

音楽と視覚が調和されているか。

・独創性と多様性

作品が独創性に優れ、なおかつ多様性に富んでいるか。

作品の解釈と表現

ショー全体の解釈と表現を音楽的な要素と視覚的な要素の結びつきをふまえて総合的に判断する。

・表現の幅と質

作品が意図するところを理解し強弱や緩急、喜怒哀楽などの表現に幅があるか。

また、それらを高めようとしているか。

・ミュージシャンシップとショーマンシップ

観客を意識し、アピールしようとする姿勢が一貫しているか。

また、観客とのコミュニケーション（伝達）が良好か。

・完成度

内容を把握し、ミスやエラーのない演奏・演技になっているか。

表現の幅と質が作品の意図するところを理解し強弱や緩急、喜怒哀楽などの表現が完成されているか。

演奏技術と表現力

演奏技術と表現力

演奏者の技術力や表現力がいかに調整されているかを判断する。

演奏技術

- ・呼吸法

十分に息が吸えており、ブレスコントロールができているか。

必要な長さまできちんと息を使えているか。

- ・音質

無理のない自然な響きで、それぞれの楽器の特性にあった音色が作られているか。

- ・音程

チューニングが正確にされているか。

正しいピッチにより旋律、和音とも自然な響きが得られているか。

- ・アーティキュレーション

曲想に合っており十分な多様性があるか。

よく統一されているか。

- ・打楽器の奏法の統一

基本的な奏法が統一されているか。

表現力

- ・ダイナミックレンジ

曲想に合った強弱の付け方ができているか。

- ・フレージング

曲想に合ったフレーズ感を表現しているか。

- ・バランスとブレンド

全体を通じて高音楽器から低音楽器までバランスよくブレンドされているか。

旋律やソロとハーモニーのバランスが良く、明瞭であるか。

- ・スタイル

楽曲のジャンルの特徴や、楽曲そのものの個性を演奏者がいかに理解して表現しているか。

- ・ミュージシャンシップ

観客を意識し、アピールしようとする姿勢が一貫しているか。

マーチングバンド部門
中学生の部・高等学校の部・一般の部

演技技術と表現力

基礎技術力

演技者の基礎技術力がいかに優れているかを、カラーガードの技術を含め、個々のプレーヤーもしくはグループに関して判断する。（動くすべてのセクションを対象としてサンプリングする）

- ・スタイルの統一と適応
フォワードマーチ、リアマーチ、マークタイム、停止姿勢、ターン方法等が統一されているか。また、その動作が演奏することに適しているか。
- ・動作の転換とタイミング
すべての連続動作が正確でスムーズに行われているか。
- ・楽器、手具等の保持および使い方
演奏・演技を行うにあたり楽器や手具等が適切に使われているか。
- ・リカバリー能力
ミスに対して適切な対応ができているかどうか。

達成度と表現力

演技者の表現力がいかに優れているかを、カラーガードの技術を含め、個々のプレーヤーもしくはグループに関して判断する。（動くすべてのセクションを対象としてサンプリングする）

- ・列、および間隔のそろえ方
列をそろえるにあたり、その基準を理解しており、その上でそろえられているか。また、間隔（インターバル・ディスタンス）の取り方を理解しているか。
- ・ボディーワーク
演奏されている音楽に適した表現がなされているか。
- ・手具等の表現
手具の扱い方や振付けが音楽に適した表現がなされているか。
- ・ショーマンシップとコミュニケーション
観客を意識し、アピールしようとする姿勢が一貫しているか。また、表現を通して観客との対話がなされているか。

1. 目的

マーチングバンド東海大会における会場管理の安全を期し、以て不測の事態による人的災害を最小限に軽減するために以下の緊急時対策をとる。

2. 予防体制

- (1) 各担当者は、それぞれのポジション内の整理については、特に注意し、不必要なものは置かないようにする。
- (2) 入場開始1時間前に、役員及び係員全員で、消防器所在などの会場内事情を確認するとともに不審物、危険物の有無の点検を徹底的に行う。多少でも疑わしきものがあつた場合には、大会本部に各担当責任者を通じ連絡すること。
- (3) 開会30分前に再度確認する。

3. 緊急事態発生の場合

- (1) 火災発生の場合
 - ① 火災発生の発見者は、直ちに初期消火体制をとるとともに、臨席の消防官・警察官に通報、また、各担当責任者に連絡すること。
 - ② 各担当責任者は、大会本部に通報し、大会本部は消防署に通報する。
 - ③ 臨席の消防官または警察官の指示は、各担当者が受け本部に連絡する。
 - ④ 初期消火については、会場内所定の消火器の操作要領を、各担当責任者が関係係員に確認しておくこと。
 - ⑤ 来場者の避難誘導については、大会本部からの連絡（放送）により、来場者を混乱させることなく、あらかじめ定めた通路を使って誘導を行う。
- (2) 地震の場合
 - ① 来場者に対して、まず冷静に対処することを放送・ハンドマイクなどで呼びかけ、本部の状況判断を待ち、避難を要する場合は各出入口を使って館外に誘導を行う。誘導にあたっては、各担当責任者、臨席の消防官・警察官の指示を受ける。
- (3) けが人・病人発生の場合
 - ① けが人・病人が発生した場合には、各担当者を通じて大会本部に通報し、その指示を受け、救護係員の到着を待つこと。
 - ② 各担当者は本部に通報する。
 - ③ 大会本部は、救護班に待機場所を通報し、必要がある場合は、大会本部より救急車の出動を要請する。
救護所は、医務室に設置する。

インフォメーション

宿 泊	各団体にて手配してください。
弁 当	「出演団体打合せ会」にて詳細説明を致します。
駐車場	<p>すべて有料です。</p> <p>乗用車 1台 500円 (一般有料駐車場) [1回の利用] ※ 駐車場券売機で購入。</p> <p>大型車 1台 2,000円 (駐車区域を指定) [出入り自由] ※ 9月30日(土)の出演団体打合せ会の際に徴収し、許可証を発行します。 ※ 楽器等器物搬入出に必要な移動経路、一時駐停車場所については別途書面にてご案内申し上げます。許可証のない車両は駐車できません。</p>
入場券	<p>前売券 <u>指定S席 3,500円</u> <u>指定A席 2,500円</u> <u>指定B席1,500円</u> 当日券 <u>指定S席 4,000円</u> <u>指定A席 3,000円</u> <u>指定B席2,000円</u> *いずれもプログラム付</p> <p>☆販売方法</p> <p><前売り券></p> <p>(1) 出演団体の方</p> <p>申込みフォーム (https://forms.gle/4T172U7G5sHwQJJJ8 またはQRコード) に入力して、9月13日(水)までに申し込んでください。 調整後、確定枚数を前売券申込責任者に連絡させていただきますので、その後最終申し込み枚数等を記入して、出演団体打合せ会にご持参ください。 <u>9月30日(土)の出演団体打合せ会の際に座席のご説明を致します。</u></p> <p>(2) その他の方は</p> <p><u>10月1日(日)から販売しますので、ホームページよりお申し込みください。</u> ※振込手数料・送料が別途かかります。 ※購入頂いた入場券は払い戻し出来ませんのでご了承ください。</p> <p><当日券></p> <p>日本ガイシスポーツプラザ「当日券販売窓口」にてお求めください。</p>
お問い合わせ	<p>〒475-0933 半田市新野町1-66 TEL(0569)47-9798 FAX(0569)47-9799 大会事務局 (日本マーチングバンド協会東海支部事務局)</p>

周知徹底事項

1. カメラ・ビデオ等の撮影は、禁止です。
※各団体に出演団体用記録席（4名まで）を設けています。
撮影者は、必ず指定の動線に添ってお進みください。
2. 携帯電話の使用は、演奏・演技の支障となると共に、周囲の観客の皆様にもご迷惑となりますので、おやめ下さい。
3. 会場での練習は、指定された場所以外では一切できません。

※各団体の責任者は、団体関係者・保護者の方々に周知徹底をして頂きますよう、
お願い致します。

日本マーチングバンド協会東海支部

【事務局】 〒475-0933 半田市新野町1-66

TEL (0569) 47-9798 FAX (0569) 47-9799

URL <http://www.jmba-tokai.jp>

E-mail info@jmba-tokai.jp